

農業分野における女性優位に向けて ムニマ・スルタナ（バングラデシュ）

バングラデシュでは、女性による農業分野への参画が日ごとに進んでいます。現在、女性たちは播種、耕作、灌水、脱穀など事実上あらゆる農作業に携わるようになっており、専門家はこのような変化を「静かな革命」と捉えています。このような変化が起きている主な理由として、出稼ぎのために都市部へと移住する男性が増加していること、および技術的変革が挙げられます。

2011年の報告書によると、1996年から2006年にかけて男性の農業就業人口は7パーセント減少したのに対し、女性の農業就業人口は103パーセント増加して770万人に達しています。また、男性が農業からサービス産業などの非農業部門へと就労先をシフトするのに伴い、女性が農園管理や収穫後の加工などに従事する賃金労働者として広く受け入れられています。特に大規模な町の市街地における人口は男性が圧倒的に多く、雇用機会を求めて農村地域から都市部へと男性の移住者が相当数流入していることが分かります。それに加え、男性の海外への移住率も高まっていることから、農村部では女性が一家の主として家庭を支えているという状況があります。

その他の報告書からも、バングラデシュにおいて鋤からトラクターへと農耕器具の機械化が進むにつれ、女性による農業参加が増加傾向にあることが分かります。この傾向の理由として、以前は土地を耕す作業がハードな肉体労働であったのに対し、現在は電動耕作機を用いて女性にも容易にできるようになったことが挙げられます。農業の機械化は灌水作業においても見られます。また、播種や除草といったさまざまな農作業も同様に女性がこなしています。

しかし、女性の労働人口は増加しているものの、その賃金は依然として男性よりも低く抑えられているのが現状です。極度の貧困や食糧不足といった要因を背景に、社会規範や慣習にも変化が生じ、生きていくために女性も農業分野で働かざるを得ない状況にあります。ただし報告書が指摘しているように、農業に従事する女性の約60～70%は土地を持たない家庭、あるいはそれに準ずる零細農家の女性です。

こうした状況を受けて、女性が現代的な技術習得のための訓練や教育を受けるとともに適正賃金を得られるよう、政府は政策を見直すべきだと専門家は述べています。これらの方策は全て、女性の農業分野への参画率を向上させるのに有効です。政府は、男女共同参画のための戦略を立て、女性が農業分野に進出することに対する家族やコミュニティの支持・支援を促進すべきです。その際、重点政策として、女性農業者に対して現代的な技術に関する教育、および農耕機器や経済的支援を利用する機会の推進を図るべきです。さらに、米の生

産において女性が果たす役割の向上に焦点を合わせた戦略を導入し、家庭レベルでの食糧安全保障の確保を図るとともに、女性によるベンチャー起業への支援を行うことが求められます。

これまでバングラデシュでは、女性が農業に従事するのは収穫の段階がほとんどでした。しかし、現在では収穫後の作業の約8割を女性が担っています。家庭でのガーデニングも人気が高まっていますが、ほ



バングラデシュの女性

ぼ女性たちの手だけで行われています。農業のあらゆる段階における女性の進出に合わせ、肥料や経済的な支援などの政府が農業従事者に対して行う助成を、女性も確実に受けられるようにすることが不可欠です。バングラデシュでは、耕作地が夫の名義で登記されているという理由で、女性農業者は政府による助成を受けられないでいることが明らかになっています。国内の農業従事者のおよそ半数が女性であるにもかかわらず、その大多数が農業投入資材助成カード（Agriculture Input Assistance Card: AIAC）の交付を受けていません。このカードを提示しなければ、農業従事者は灌漑用機器に使用するディーゼル燃料などの助成を受けることができないのです。

農業省によると、AIACの制度が2010年に開始されて以降、およそ1,400万枚のカードが交付されています。しかしこのAIACプログラムは、土地所有者のみに取得資格が与えられる仕組みになっています。そのため、耕作地の登記名義人が男性の配偶者であるからという理由だけで、何百万人もの女性がAIACの交付を受けていません。これはその何百万人という女性にとって屈辱的な事態だと、専門家は考えています。彼女たちはバングラデシュの食糧生産のために精力的に働いているにもかかわらず、政府からの助成を受ける権利を奪われているからです。女性による国内の食糧生産への貢献の真価を認めるためにも、政府はAIACに関連する政策も修正するべきだと、専門家は提言しています。土地の所有者であるか否かが、AIACの取得資格を決める主たる基準となるべきではないのです。

このような中、静かな革命が起きてきます。国の中央銀行であるバングラデシュ銀行が、女性農業者がより重要な役割を果たしていることを認識し、女性農業者に融資を行うよう全ての銀行に対して指示を出したのです。バングラデシュ銀行のデータによると、去年は約44万5千人の女性農業者が、農業・農村金融として総額124億5千万タカの融資を受けています。